



写真右下：総会中のほっとスペース八王子のようす。写真右上：総会後の懇親会の準備。
写真左上・左下：懇親会はみんなで手巻き寿司。写真上段中：総会後の記念写真。

C O N T E N T S

現状と課題 …2 頁

「ほっとスペース八王子」事務局

特集：第34回定期総会 …3 頁

「ほっと」編集部

読もう会&聞こう会&書こう会から …12 頁

読もう会：UFO 聞こう会&書こう会：安井茂雄／I・H／

UFO／リネカー／山海珍味／孫悟麺／H・H

特集：フィリピン研修旅行レポート …14 頁

フィリピンと日本の歴史：安兵衛／

セブ研修旅行報告：山海珍味

特別連載 …19 頁

多剤併用大量投与と私の闘病体験：島村勇一

次号予告&原稿募集 …20 頁

編集部

編集後記 …20 頁

編集部

SSKS



ほ
っ
と

「ほっとスペース八王子」ニュース

2017年8月号

158号

定価100円

Facebook 発行 郵便 振替 所 代 理 店
E H F 電 編
P I A 集
M U R 人
A I R
L L X 話
〒192-0053 東京都八王子市八幡町一三二
042-628-2319 ふくしまやビル二階「ほっとスペース八王子」(事務局：堀部 正)
042-620-2786
http://hotospace802.world.coocan.jp/
cxb01672@nifty.ne.jp
〒001800-833512 「ほっとスペース八王子」
〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷三二一七
ヴェルドウーラ祖師谷一〇二号室 障害者団体定期刊行物協会
https://www.facebook.com/hachioji.hotspace



2017年5月30日、東京地方裁判所。
成瀬裁判に傍聴です。

障害者総合支援法が制定され、運用されて十二年。巷の福祉業界では定着したのでしょうか、ほっとスペース八王子ではいろいろと問題点があらわになってきていることに気づかされています。

まずは、利用料の問題です。

ほっとスペース八王子が共同作業所だった頃、利用されていた会員が利用料の為に利用を放棄されました。いままでも利用されていた仲間が利用費を払って、毎日黙々とやりたくもない工賃作業して、利用費を取り戻すのか、と批判していました。

もう一つは、精神疾患のために職場

を休職している会員の問題です。障害者総合支援法は就労している仲間の利用を認めています。共同作業所時代の頃、休職して家に閉じこもっているよりは共同作業所で仲間と話をしたりする場が提供されることは大切な機能の一つだと思っています。或いは、ほっとスペース八王子のような場に出会ったことで、価値観が変わり、うつ状態からの脱却に役に立った、ということもありました。

ところが、障害者総合支援法はたとえ休職中だとしても、就労している方には利用が認められていません。

もちろん、ほっとスペース八王子は休職中の方の利用も受け入れています。利用料も取りませんし、国保連への請求も致しません。

しかし、これで良いのかとじっくりいきません。

第三には、会員の発病当時から病歴、成育歴などの情報が行政に筒抜けになることです。刑事事件などの事件に巻き込まれた場合には警察も関与してきます。その場合に、ほっとスペース八王子はあくまでも会員の人権擁護の立場から、裁判所の命令であれば仕方ないが、任意での情報提供は極力避

けています。

この点も、共同作業所時代と異なる点です。治安対策に就労支援事業所が協力させられる危険性が増しているのは事実です。

「精神病者が犯罪と結びつく」という差別と偏見がますます強まっている中でこのような動きが強まっているのは、看過できません。

実際に、5月末に会員がコンビニで大声を上げたというそんな理由で一〇番通報されています。街のいたるところに監視カメラが設置され、いつなん時でもどこからでも監視されている状況です。

現状と課題

こういう息が詰まるような現状

実が障害者総合支援法と結びついて、精神病者が今まで以上に生き辛い社会に変貌しているのは隠しようのないものとなっています。

5月に、成瀬さんが東京拘置所から「助けてくれ」と電報がほっとスペース八王子に届きました。

ほっとスペース八王子のような事業所ともっと早くに結びついていれば、彼のように取るに足らない事件にもならないようなことで通報され、逮捕され、前科を重ねることなかった、と真剣に思います。



東京地裁（高裁）内部は原則撮影禁止ですが、ごはんは撮った。

今回の事件も勘違いでおつりと一緒に支払ったお札を自分の財布にしまうこともなかったと思います。お店から指摘された時点、彼が気が付いた時点でお詫びをして、事なきを得たのにと残念で致し方ありません。

彼はそのために、半年近く勾留され、保釈も認められましたが、保釈金が一〇〇万円と生活保護の身にはあまりに高額なので、保釈が絵に描いた餅となっています。

福祉施設と化した刑務所ということを知ったことがあります。精神病者の場合は行き場ではありません。治安対策となっているのです。何かにつけて取るに足らないことで通報され、逮捕される現実です。

ほっとスペース八王子だけの問題ではありません。全国の仲間全体の問題です。

（事務局）

5・9 定期総会

無事終了す

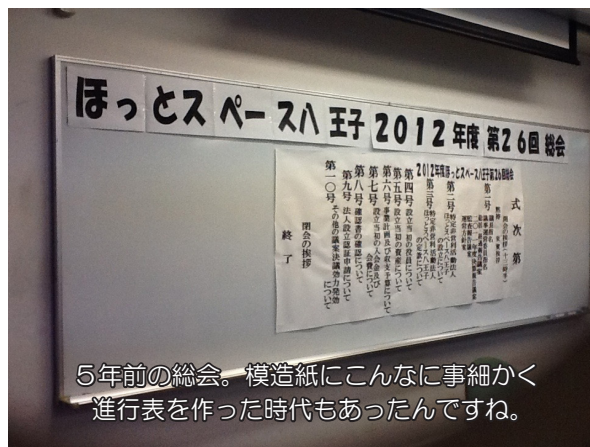
去る5月9日火曜日、「ほっとスペース八王子」内にて第34回定期総会が開かれました。34回というのは、作業所として「ほっとスペース八王子」が発足してからの通算回数で、NPO法人格を取得し、法内移行（障害者総合支援法）してからは7回めです。通算回数には臨時総会、特別総会も含まれ、今回は定期総会ということです。

総会では、9つの議題（ゼロ号議案である議長の選任を含めて）が出され、すべて議決されました。今号では、第1号議案である2016年度活動総括、第2号議案の中から2016年度決算表、第4号議案である2017年度活動方針案、第5号議案である2017年度予算、第7号議案から改定就業規則、第8号議案である改定ボランティア受け入れ規定を掲載します。誌面の都合で1号に収まらないので、2号に分けて掲載します。

今回の定期総会は、異論や反対意見が特になく無事に進行しました。司会と議長を務めて下さった会員の方々、本当にお疲れ様でした。総会の中で重要なことは、決算と予算（議会でも団体でも共通のことですね）なんです。が、「ほっとスペース八王子」では、活動総括と活動方針案が名物になりつつあります。法内移行直後、前年度の議案

書を参考にしつつおっかなびっくり書いていたのですが、今ではあれこれ盛り込みたいことが出てきて年を経るごとに議案書が長くなっていていきます。

ということなので、今回の総会特集は、2号に分けて掲載することにしました。編集部からすると、総会特集はページ数が稼げるので非常に助かるのですが、実はレイアウト、ページの組み込みに苦心しています。じつはpdfのページをそのまま貼り付けたいのですが、決算書や予算表はいいとして、活動総括や活動方針はけっこうなページ数になってしまいます（実は以前は決算書や予算表は画像化して分割して貼り付けたり、インデザインの

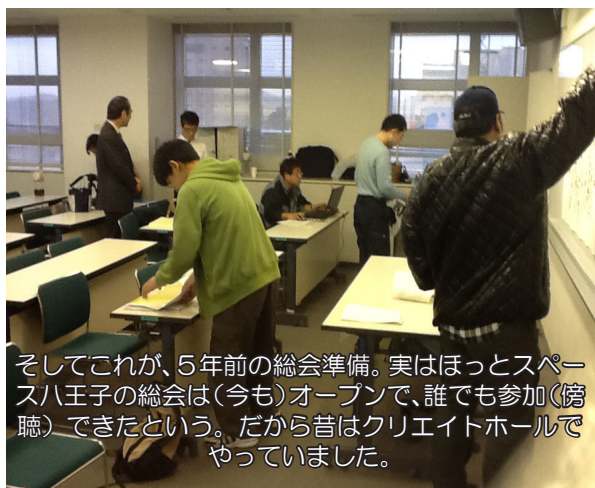


5年前の総会。模造紙にこんなに事細かく進行表を作った時代もあったんですね。

ページにセル割して項目を入力したり苦労しました。トップページの画像のとおり、総会の後は懇親会（こんしんかい）なご（？）な雰囲気の中、みんなで手巻き寿司を仲良くあっとい間に平らげたとさ。

以上、総会裏話でした。あらためて議案書を読んでみると、たたき台を作ったのは「ほっと」編集部ですが、仕上がりは安兵衛デイストだなんなんて思ったり。そして、今回の総会が終わった時点で次の総会への準備は始まっています。あともうちょっと会員さんが増えたらいいなあ。頑張らずに、おっよう鷹揚に構えてできれば苦労はしないんですが。とほほ。

（編集部）



そしてこれが、5年前の総会準備。実はほっとスペース八王子の総会（今も）オープンで、誰でも参加（傍聴）できたという。だから昔はクリエイティブホールでやっていました。

ほっとスペース八王子 2017 年度総会

（第 34 回）第 1 号議案書

（2016 年度活動総括）

1. 情勢分析

2016 年度の情勢は、年度が替わって早々戦争法が制定されて、早々と議論も十分にしないままに、自衛隊を南スーダンに駆けつけ警備に配備させ、戦闘行為も発生していました。ところが、政府・防衛省は当初は警備日報の存在を否定していましたが、その存在が明らかになるや、戦闘行為ではなく武力衝突だとわけの分からない言い訳をして、自衛隊、戦争法の憲法違反の現実をぬぐい隠そうとしています。こういうことが象徴するように、現在日本はいわば「茶色の朝」状況が一気に進んでいます。毎朝毎朝、あれもこれも「茶色」に染められていく現実が深まっています。「茶色」とはナチスの親衛隊の制服の色です。「茶色の朝」はドイツがナチスに染まっていくのが急な変化ではなく、気がつかないうちに、徐々に世の中全体がナチス的に変化していったことを、象徴的に著した小説です。麻生財務大臣が「ドイツのワイマール憲法はいつの間にか変わっていた。誰も気がつかない間に変わった。あの手口を学んだらどうか」（2013 年 8 月 1 日）と発言しましたが。公園や駅、商店街など街の隅々にモニタカメラが設置され、特定秘密保護法＝スパイ防止法制定、盗聴法改悪に続き、精神保健福祉法改悪、共謀罪と押しなべて治安法が整備され、自由が奪われる状況が生まれて、戦争への準備、改憲の準備が次々と進められています。

またイデオロギー面においても攻撃が進んでいます。在日外国人、特に在日朝鮮人や在日中国人へのヘイトスピーチ、障害者へのヘイトクライムも尋常ではありません。2016 年 7 月 26 日に発生したあの「神奈川県立相模原津久井やまゆり園」事件は、障害者の地域共生に対する重大な挑戦であり、風化させてはいけません。もっとも、事件の前から措置入院の適用基準見直しが議論されてきましたが、ここ最近、精神保健福祉法が変わるという具体的な話になり看過できない状況におかれています。相模原市のやまゆり園事件はたまたま起きた事件ではなく、安倍自公政権が進める改憲、戦争政策のイデオロギー面における攻撃の結果だと思われます。

消費税のアップのために便乗値上げで特に生活必需品の物価が高くなり、なおかつ障害年金が目減りしています。生活保護費も削減されているし、申請そのものを受け付けない水際作戦で申請もままならない状況で、私たち障がい者はますます生きづらくなっています。こういう状況下で障がい者が人として生きていくには、今まで通りののほほんとした生き方では到底追いつかない状況です。焦る必要はないけれども、私たちは平和でなければ息が詰まって、生き苦しくて、生きていくのもままなりません。生きていくためにも、何とか力を合わせて、安倍自公政権の崩壊、打倒を目指す必要があります。

国際面に目を転じると、資本主義社会の末期現象とも言えるような様相です。イギリスの EU 離脱にはじまり、米トランプ大統領就任があって、金正男氏暗殺に終わるといった 1 年でした。この間、シリア内戦はわずかな停戦しかなし得ず、トルコとロシアの関係が悪化しています。同じくロシアではウクライナで不穏な動きを見せ、イスラム国は全盛期からかなり勢力を落としたとはいえ健在です。欧州ではテロのほか難民と各国民の間で衝突が絶えず、欧州各国で内向きの右派政党が跋扈（はつこ）してきています。テロこそ頻発してはいませんが、アメリカでも「アメリカ・ファースト」を掲げたトランプ氏が大統領選を制し、新大統領になりました。ただ、一方で民主主義を守ろうとする市民もあり、一部は団体で、あるいは政党で活動し、国論を二分しています。例を挙げれば、スペインのポデモスが総選挙で第 3

党にまで成長していますし、オーストリアでは「緑の党」対「自由党」という対照的な一騎打ちの末、「緑の党」の候補が首相になりました。年度末にはマレーシアで金正男氏暗殺事件があり、マレーシアと北朝鮮の国交が急速に悪化、同時期に北朝鮮は改良型弾道ミサイル発射実験を行い、にわかに予断を許さない情勢になりました。2017年度においても、世界、国内いずれの情勢からも目が離せません。その点については、活動方針案でも触れます。

2. 権利擁護活動

上に述べた状況を奇しくも端的に表したような現実がこの年度には現れてきました。3人の仲間が書類送検、逮捕されるという現実です。今までのほっとスペース八王子の活動の歴史の中でこれだけ多数の仲間が司直の取調べを受けるということはありませんでした。近所の監視の目がこれだけ厳しくなっていることの現われだと思います。今までだったら、まず、110番通報されるような事件として取り扱われなかったでしょう。しかし、昨今ではそうではないのです。どんな些細な^{ささい}ことでも、不審者だと思われれば、110番通報が当たり前のようになっています。警察に精神障害者のことを解決する能力があるわけではありません。警察はあくまで治安を維持するのが仕事です。精神障害者は犯罪予備軍とみなされ、治安の対象にされているのです。これも安倍自公政権のイデオロギー攻撃の現れです。障がい者や高齢者、在日朝鮮人、在日中国人や沖縄県民など社会的マイノリティ、社会的弱者が疎まれ、邪魔扱いされるような世の中にさせられているのです。ほっとスペース八王子はこのような社会的弱者同士で手をつないで助け合うということが理念、基本方針の一つとして掲げています。弱いもの同士で助け合わないで誰が助けるのかと言うことです。代議士や偉い先生が助けてくれるのであれば、長い人類の歴史の中で当の昔に社会的弱者など存在していないはずです。そもそも差別や抑圧は、時の政府や為政者たちがありもしないものを意図的に作り出してきた、作り出しているものです。被差別部落や沖縄の人々、在日朝鮮人や在日中国人、ハンセン病患者さんたちがそうであるように、差別され抑圧されてきたもの同士、自らが自らの手で自らの生活、人生を築き、守るというのが、ほっとスペース八王子の自主運営の精神です。

「茶色の朝」的状况が進む中、ますます私たち「精神病者」は生き辛^{づら}らくなって、このような事件ともいえない「事件」で司直の手に仲間を奪われることが増えるかもしれませんが、直ちに救援活動を行うことを誓い合いたいと思います。更に、権利擁護活動でしっかり確認して欲しいのは、生活保護や障害年金が国・政府の恩恵ではないということです。人として健康にして文化的に生きる権利はどんな人でも生まれながらに持っている当然の権利であることを何度も何度もしっかり確認しましょう。この生きる権利に対する義務は課せられていません。

逆に、国や政府はどんな人に対しても人として健康にして文化的に生きることを保障する義務があるのです。この義務を放棄するに等しいことを現在の安倍自公政権は「予算がない」という口実で行っているのです。予算があるから保障するのではなく、予算を講じなければならない義務があるのです。利用者から、生活保護であっても、結婚する権利はあるという意見が出されました。昔であれば、貧乏でもたくましく生きていくドラマやアニメ、マンガで沢山描かれ、未来への希望を十分うかがわせる^{きつぷ}雰囲気がありました。そういった空気はバブル崩壊後の20数年で一変してしまいました。「財源がない」というのは言い訳にすらなりません。「人が当たり前に生きていくこと」を基本に、障害者総合支援法、精神保健福祉法、医療観察法への反対を軸に、権利擁護活動を進めて行きたいと考えます。活動方針でも取り上げます。

3. 財政、会計面での総括

2016年度においては、夏季の研修旅行に行けなかったことで、予算のうち旅費交通費の未執行で今年度に繰り越され、フィリピン研修旅行に充てられます。基本的には予算通りに行けました。毎年予算的に崖っぷちであることをアピールしてきたほっとスペース八王子ですが、NPO法人として法内移行して再出発した2013年度と比べれば、格段に予算的余裕のある運営ができました。ですが、不確定要素もあります。例えば、八王子市による家賃補助ですが、すでに廃止で確定しました。もっとも、別の名目で支給されるという話もあります。給付金収入が1,300～1,400万、その他諸々の諸収入併せて2,400万程度の予算で職員の給与含めた運営予算を組まなくてはなりません。ソフト面を重視するか、ハード面を重視するか、それによってもかかる予算は大幅に変わってきます。ですから、予算をどう使うか、ということをお会員のみなさんにも考えて頂きたいのです。会員の皆さんにはその権利があります。どうかよろしくお願いします。

4. 年間行事、レクなどの総括

2016年度の行事、レクについて総括します。経過報告でも触れていますので、さらっと流します。4月は昭和記念公園でお花見をしました。職員家族の参加もあって、とても楽しい会になりました。ただ、お弁当を作って持参する場合、みんなで手分けして協力しましょう。5月はメーデー、2016年は日曜日だったのでほっとを閉所していく必要はなかったのですが、今後年次行事にするかは話しあいによります。総会があって日帰り旅行改め月次レクで上野原へ。相模川河川敷で昼食、とてもゆったりとした平和な時間を過ごせました。午後に行った秋山温泉も良かったです。6月は参議院議員選挙もあり、公開質問状の準備にも追われました。夕焼け小焼けの里でバーベキュー。バーベキューも、年次行事になりそうです。7月はロシア・ボリショイサーカスを観に行くことができました。7月と11月には医療観察法反対全国集会が恒例の行事となったのですが、もう少し会員の参加が欲しいところです。月末には都知事選挙もありました。8月は毎年、夏季研修旅行（ここ数年は長崎）の予定だったのですが、宿泊地予約の関係で行けませんでした。その代わりという訳ではありませんが埼玉県東松山市の丸木美術館に行きました。マスクプレイミュージカル「魔法使いプリキュア」のショーにも行きました。プリキュアショーも恒例になってきました。9月は月次レクがありませんでした。7月に起こった「神奈川県立相模原津久井やまゆり園」事件を受けての勉強会を行いました。準備等もあって、9月にずれ込んだものです。10月は月次レクとして、日本病院・地域精神医学会総会（通称病地学会）に参加しました。非常に有意義な会であったと思います。11月は八王子市内の龍泉寺温泉へ月次レクに行きました。午後のプログラムいっぱいを使ってのんびりできました。12月は他作業所の開業祝、恒例の望年会、餅つき、納会があって、前年度に引き続き31日のカウントダウンパーティーを行いました。年が明けて2017年1月、4日から仕事始め、月次レクは高幡不動へ遅めの初もうで。2月は月次レクに行かず偲ぶ会。例年ですと9～11月に行うのですが、いろいろと忙しく2月にずれ込みました。3月の月次レクは山梨県猿橋。日本三大奇橋のひとつで名勝地です。

全体的になんといっても8月の夏季研修旅行がなかったこと、再開した海外研修がなかったことが大きいです。それ以外はだいたい予定通り、皆も楽しめる行事だったと言えるでしょう。

5. 授産活動についての総括

授産活動については、ラーメン店舗清掃、紅茶パック袋詰めおよびコーヒーパッケージシール貼り、「ばど」配達、香華販売、「ほっと」丁合発送、「八障連通信」^{とどこお} 発送作業など、ほぼトラブルや滞りもなく出来たと思います。

大まかに総括すると、通常の授産活動以外の作業、ワークセンターからの照会があまり多くありませ

んでした。2015年度ですと、玩具木工、虐待防止啓蒙のバッジとイラストの塗り絵などがありました。2016年度はそういったものはありませんでした。会員からは、積極的、意欲的に参加したいという意見が多く、高い士気を伺わせます。

作業個別に総括すると、ラーメン店舗清掃については、2人の固定メンバーで、行事などで出来ない日をのぞけば問題なくこなせていました。実際に作業にあたっている人も、生活リズムをつかむという意味で有意義だし、引き続きやっていきたいとのことです。珈琲実験室からの授産作業は、年に数回、急な依頼や追加が入るものの、間に合わせる事ができていました。ただ、運搬作業が大変という会員もいて、段取りや、分担に課題があるかもしれません。「ばど」の配達についても、だいたい同じ人が同じ場所を担当することで、位置関係や土地感覚もつかめて、地図なしで配達できてきています。香華販売については、年に3回あるのですが、1回の香華販売につき、1日しかとれていません。他事業所との関係もあって、できれば土日祝日の確保をしたいのですが、その日は休みたいという会員も多く、「授産は積極的にやりたいが休みの日までは…」というジレンマもあって、当面は1回の香華販売で1日という状況が続きそうです。

6. プログラム面での総括

2016年度のプログラム総括に移ります。週一回のパソコン教室を取り入れ、授産活動が本格的に始動し、一般的なB型事業所としての側面も増えました。下半期では、音楽プログラム、エレクトーン教室が復活し、プログラムの多様性が高まりました。プログラムの多様化は、会員増加をうながす要因でもあるため、従来からあるプログラムとのバランスを考えながら、全体ミーティング等でしっかりと決めていく必要があります。一方で、スポーツ教室に関しては、年齢、体力等の個人差の観点から同じスポーツを行う際は、加減をしながら行う、安全対策を考える、あるいは別々のスポーツ、運動に分けるなどの策を講じる必要があります。

また、毎月一度開催されるレク会では、お花見、バーベキュー、初詣等の季節に合わせた企画から、精神医療に軸を置いた行事の参加、他県の自然散策もあり、充実した年になったのではいかと考えられます。今後は、全体ミーティングをさらに活用して、月ごとに幹事を交代しながら、幹事がみんなと一緒にいきたい場所を決めて、協力して決めていくよう、引き続きおこなっていきましょう。

運動系（体育館でのフットサル等、泳ごう会、散歩など）、流そう会、読もう会、聞こう会、PC教室、面会活動などはほぼ予定通りこなせました。合間に漢字で遊ぼう（中国語）、絵画教室、などのプログラムが入っている感じです。英会話教室は、講師のスケジュールの問題でだいたい月1くらいのコマ、音楽教室は、講師の健康状態との相談、といった状況です。

映画会、ゲームの会は漸減、カラオケは大幅に時間数が減りました。新しい取り組みとして、「書こう会」をはじめました。このプログラムは、利用者の意思表示、表現力を涵養する意味では非常に効果的なプログラムですが、まだ、「どんなことを書けばよいか」というところに課題があります。逆に書道教室、数学教室、イメージ遊びなどが行われていません。また、急なプログラム変更で何をするか話し合ったとき、音楽鑑賞の時間を希望する者が一番多いというよりもほとんど音楽鑑賞になりがちです。学習会（勉強会）も漸次行っていますが、「勉強」というと、堅苦しいイメージで敬遠されがちですが、もっと気負わず、楽しいものにできるかどうか課題です。

最後に、「ほっとスペース八王子」内での問題、もめごと、トラブル対処のとき、プログラムを中止して話し合いになることがあります。場合に依っては、授産作業を削ることもままあります。利用者は、そんな話し合いをすることでトラブルが起きた際の対処法を学ぶためにもほっとスペース八王子をドシドシ活用してください。

7. その他の総括

以上各論として2016年度の総括を述べてきましたが、特筆すべきこととして、刑事関連のトラブルが3件あったことです。検察庁への同行、弁護士との相談、面会や差し入れによるサポートなど、全体が冷静かつ迅速に行動できたと言えます。その甲斐^{か い}あってか、すべてにおいて起訴にいたらず、良い結果を残しました。トラブルを受けてのほっとスペース八王子での対処は非常に良いものがあります。今後とも続けていきたいものです。特に、医療観察法、精神保健福祉法といった法律が絡むだけに、常に綱渡り状態の緊迫した対処ですが、いっそう気を引き締めておきたいものです。2016年度は、全体的に前年度に比べ、平均通所者数が若干名ではあるが、増加しました。一方で、会員が目標実現に向けて卒業した良い例があれば、考えの相違から円満に終わらず退所されてしまった方もいます。特に、政治面に関する意見の相違は、開所以来の課題と言っているかもしれません。会員一人ひとりの特性をしっかりと踏まえながら、今後こういった柔軟な対応をしていくかが鍵^{かぎ}になってくるでしょう。

また、一人ひとり体調に波がある年でもありました。調子の良し悪しを察知、確認できるように心がけて、会員の体力面に関しても個人差があるため、各々の健康状態を把握し、その状態を加味した上で、体を動かすプログラムに積極的に参加する、毎日ほっとに通所してご飯だけでも食べる、など目標設定をしながら、関わっていく必要があります。そして、職員に対するサポートを見つめなおさないとなりません。特に、精神的負担は目に見えにくいので、いつダウンしてしまうかは本人以外分かりにくいものだからです。また、年度後半は職員について若干トラブルがありました。かねてより支援法の下での自主運営、当事者運営の問題点は障害者自立支援法制定前から反対の声を上げて述べてきましたが、遂に、ほっとスペース八王子の職員人事に関して、その問題点が如実に現れてきました。

障害者総合支援法下でほっとスペース八王子のような当事者運営の事業所を立ち上げ、運営を維持していくためには絶えず当事者の後継問題が付随してきます。それと共に職員の確保も重要な問題です。当事者で運営するというスタンスだと、開設以来22年のほっとスペース八王子では荒れると、立ち上げた当事者運営者を除いて、職員が全員辞職する場合も少なくはありませんでした。昨年度はまさにその年に当たりました。何とか、ハローワークとか連携している事業所と連絡を取りながら、新職員の確保をしました。サービス管理責任者という資格を持った職員が必ず配置しなければならないというシバリは当事者運営にとって、ハードルが高い部分ではあります。

当事者運営が全国に広がらない大きな理由は安倍独裁政権の専制政治にしっかりと野党が闘えていないこと、反戦運動、労働運動や学生運動が停滞していることもあります。さらに、この障害者総合支援法の資格制度の問題があります。こういうハードルをこれからも越えて、当事者で運営する、患者会で運営する事業所ほっとスペース八王子を維持し、発展させていきます。会員については、少しずつではありますが、増えて来ています。利用者は、大人数での過ごし方も覚えていかないといけなくなりそうです。

2017年度は、さらに会員が発しているサインを察知していけるように心構えをすること、そして、自分の尺度ではなく、相手の立場にたった上で、相手がしたいことを相談しながら、決めていく必要があります。まずは、当事者主体が前提であり、利用者同士、職員同士、職員—利用者間といったトータルなサポート体制を心がける必要があるかもしれません。

全体的に見て、ほっとスペース八王子を巡る情勢は大変さを示しています。しかし、若干の問題はあるものの、戦争政策や差別と闘う心意気、困難を困難と思わず。乗り切るだけの基礎体力はついているでしょう。その先は、活動方針案に譲ります。以上で2016年度活動総括を終わります。

2016年度

決算表（2016年度）

給付金会計

2016年度決算

資産の部

	前期繰越	期間借方(＋)	期間貸方(－)	当期残高
現金	83,312	15,092,665	15,359,412	55,132
八千代銀行	541,711	23,933,447	22,914,476	1,560,682
郵便振替	450,090	307,670	5,200	752,560
有価証券	7,569	15,863	2,928	20,504
立替金	0			0
小計	1,082,682	39,349,645	38,282,016	2,388,878 (=A)

負債・資本の部

	前期繰越	期間借方(－)	期間貸方(＋)	当期残高
預り金	477,817	1,519,842	2,150,116	1,108,091
借入金	0	1,784,016	1,784,016	0
未払い金	0	64,800	833,150	605,350
基本金	565,876			565,876
買掛金	0			0
				0
小計	1,043,693	3,368,658	4,767,282	2,279,317 (=B)

109,561

収益の部

収益科目	前期繰越	借方(－)	貸方(＋)	当期残高
給付金	0		13,754,824	13,754,824
サービス推進基本補助	0		6,186,600	6,186,600
八王子市家賃補助	0		1,542,000	1,542,000
寄付金	0		1,263,500	1,263,500
会員会費	0		35,000	35,000
入会金	0		1,000	1,000
共同募金会	0		1,870,000	1,870,000
民間助成金	0		0	0
利用料	0		56,500	56,500
雑収入	0		23	23
運用収入	0		0	0
ニュース売り上げ	76,170			76,170
ハローワーク助成金	0		570,000	570,000
前年度繰越金	20,989			20,989
小計	97,159	0	25,279,447	25,376,606 (=C)

費用の部

費用科目	前期繰越	借方(＋)	貸方(－)	当期残高
給料	0	6,897,960		6,897,960
職員手当	0	3,747,623	37,567	3,710,056
賃金	0	3,084,013		3,084,013
法定福利厚生費	0	1,559,953		1,559,953
報酬	0	325,596	890	324,706
租税公課	0	177,400	41,200	136,200
旅費交通費	0	923,931		760,931
消耗品費	0	137,607		137,607
印刷製本費	0	0		0
事務用品費	0	4,013		4,013
水道光熱費	0	449,899		449,899
修繕費	0	11,880		11,880
指導用教材費	0	60,303		60,303
通信費	0	420,250		420,250
支払手数料	0	14,608		14,608
その他役務費	0	16,020		16,020
使用料及賃借料	0	228,550		228,550
備品購入費	0	2,844		2,844
新聞図書費	0	64,289		64,289
建物等借上費	0	3,285,200		3,285,200
諸会費	0	6,000		6,000
会議費	0	8,880		8,880
行事費	0			0
健康管理費	0	38,981		38,981
救援費	0	3,344		3,344
通所奨励金	0	633,164		633,164
雑費	0	0		0
車両費	0	3,282,752		3,282,752
雑損失	0	25,962		25,962
	0			0
寄付金支払	0	39,000		39,000
保守点検費	0	49,680		49,680
交際費	0	10,000		10,000
小計	0	25,509,702	79,657	25,267,045 (=D)

109,561

第2号議案②

2016年度決算

執行率100.0%

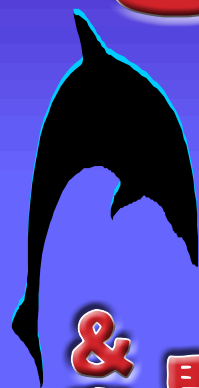
		2016年度予算	執行金額	差引額		100.0%
	収入計	26,170,589	25,905,786	264,803		99.0%
	給付金	14,400,000	13,754,824	645,176		95.5%
	サービス推進事業・基本補助	6,186,000	6,186,600	-600		100.0%
	八王子市家賃補助	1,542,600	1,542,000	600		100.0%
	寄付金	1,000,000	1,263,500	-263,500		126.4%
	会員会費	36,000	35,000	1,000		97.2%
	入会金	5,000	1,000	4,000		20.0%
	共同募金会	1,870,000	1,870,000	0	車両購入	100.0%
	民間助成金（車両購入費含む）	500,000	0	500,000		0.0%
	利用料	50,000	56,500	-6,500		113.0%
	雑収入	10,000	23	9,977		0.2%
	受取利子	0	0	0		
	未払い金	0	605,350	-605,350	フィリピン旅費、家賃補償償却費、車庫解体	
	借入金	0	0	0		
	ハローワーク助成金	550,000	570,000	-20,000		103.6%
		0				
	前年度繰越金	20,989	20,989	0		100.0%
支出計		26,515,464	25,267,045	1,248,419		95.3%
	経費A（運営費）計	26,507,964	25,237,739	1,270,225		95.2%
	事業費計	22,487,964	21,233,842	1,254,122		94.4%
	給料	6,246,372	6,897,960	-651,588		110.4%
	職員手当	3,800,000	3,710,056	89,944		97.6%
	賃金	3,931,392	3,084,013	847,379		78.4%
	法定福利費	1,900,000	1,559,953	340,047		82.1%
	ボランティア報酬	300,000	324,706	-24,706	ボランティア報酬	108.2%
	人件費計	16,177,764	15,576,688	601,076		96.3%
	租税公課		136,200	-136,200	法人住民税	
	旅費交通費	850,000	760,931	89,069		89.5%
	消耗品費	150,000	137,607	12,393		91.7%
	印刷製本費	10,000	0	10,000		0.0%
	水道光熱費	500,000	449,899	50,101		90.0%
	修繕費	50,000	11,880	38,120		23.8%
	指導用教材費	80,000	60,303	19,697		75.4%
	役務費（通信運搬費）	375,000	420,250	-45,250		112.1%
	その他役務費	15,000	16,020	-1,020		106.8%
	支払手数料	15,000	14,608	392		97.4%
	事務用品費	15,000	4,013	10,987		2.7%
	新聞図書費	150,000	64,289	85,711		42.9%
	使用料及び賃借料	490,000	228,550	261,450		46.6%
	備品購入費	400,000	2,844	397,156		0.7%
	委託料	50,000	49,680	320		99.4%
	建物等借上料	3,085,200	3,285,200	-200,000		106.5%
	諸会費	30,000	6,000	24,000		20.0%
	写真	15,000	0	15,000		0.0%
	会議費	30,000	8,880	21,120		29.6%
	寄付金支払	20,000	39,000	-19,000		195.0%
	健康管理費	40,000	38,981	1,019		97.5%
	保険加入料	50,000	0	50,000		0.0%
	通所奨励金	650,000	633,164	16,836		97.4%
	雑費	10,000	0	10,000		0.0%
	車両費	3,250,000	3,282,752	-32,752		101.0%
	交際費		10,000			
	計	4,020,000	4,003,897	16,103		99.6%
	経費B	7,500	2,452,063	-2,444,563		32694.2%
	借入金返済	0	¥1,784,016	-1,784,016	前年度賛助会からの借入金返済	
	救援費	7,500	¥3,344	4,156		44.6%
	未払い金	0	¥0	0		
	雑損失		¥25,962	-25,962		#DIV/0!
	次年度繰越金		¥638,741			

【第5号議案】

2017年度予算案

		2017年度予算	2016年度予算	2016年度決算	2015年度予算	2015年度決算	2014年度予算	2014年度決算
	収入計	25,087,291	26,170,589	26,068,786	24,859,294	22,254,117	17,951,948	18,484,474
	給付金	13,500,000	14,400,000	13,754,824	10,650,000	12,283,079	9,600,000	10,653,407
	サービス推進事業・基本補助	6,186,600	6,186,000	6,186,600	5,406,000	5,406,000	4,080,000	4,806,000
	八王子市家賃補助	1,542,600	1,542,600	1,542,000	1,542,600	1,542,600	2,005,380	1,812,600
	寄付金	300,000	1,000,000	1,263,500	30,000	1,398,735	20,000	37,703
	会員会費	36,000	36,000	35,000	60,000	8,000	60,000	57,000
	入会金	5,000	5,000	1,000	5,000	4,000	5,000	4,000
	共同募金会	0	1,870,000	1,870,000	100,000	80,000	100,000	0
	民間助成金	500,000	500,000	0	3,100,000	50,000	50,000	0
	利用料	50,000	50,000	56,500	5,000	93,000		2,000
	雑収入	10,000	10,000	23	10,000	167,764	10,000	156,664
	受取利子		0	0	0	245		530
	未払い金	768,350	0	768,350	0	0	0	0
	借入金	1,550,000	0	0	3,200,000	0	1,400,000	133,002
	ハローワーク助成金		550,000	570,000	200,000	670,000	400,000	600,000
			0					
	前年度繰越金	638,741	20,989	20,989	550,694	550,694	221,568	221,568
支出計		25,087,291	26,518,118	25,430,045	24,869,374	22,254,117	18,448,061	17,743,489
経費A（運営費）計		24,276,550	26,507,964	25,400,739	24,311,520	21,726,892	18,448,061	17,738,314
	事業費計	23,186,550	22,487,964	21,396,842	20,506,520	21,032,161	17,615,255	17,035,287
	給料	7,663,950	6,246,372	6,897,960	6,400,000	6,452,153	9,045,259	4,856,062
	職員手当	4,662,400	3,800,000	3,710,056	3,800,000	3,806,740	2,267,476	3,042,721
	獎金	3,000,000	3,931,392	3,084,013	2,500,000	2,118,207	1,000,000	2,590,403
	法定福利費	2,000,000	1,900,000	1,559,953	1,100,000	1,469,618	60,000	1,014,908
	ボランティア報酬	320,000	300,000	324,706	320,000	278,887	30,000	348,200
	租税公課	0	0	136,200	50,000	0	70,000	13,882
	人件費計	17,646,350	16,177,764	15,576,688	14,170,000	14,125,605	30,087,990	11,866,176
	旅費交通費	600,000	850,000	923,931	700,000	826,688	380,000	621,668
	消耗品費	135,000	150,000	137,607	150,000	145,567	200,000	137,377
	印刷製本費	10,000	10,000	0	400,000	409,275	0	0
	水道光熱費	450,000	500,000	449,899	500,000	471,690	430,000	495,254
	修繕費	50,000	50,000	11,880	50,000	11,416	40,000	14,472
	指導用教材費	60,000	80,000	60,303	100,000	67,405	100,000	76,083
	役務費（通信運搬費）	420,000	375,000	420,250	375,000	527,837	320,000	371,789
	その他役務費	15,000	15,000	16,020	15,000	596,580	15,000	13,220
	支払手数料	15,000	15,000	14,608	8,000	13,255	4,000	7,370
	事務用品費	10,000	15,000	4,013	25,000	7,957	5,000	21,807
	新聞図書費	65,000	150,000	64,289	50,000	104,400	25,000	47,926
	使用料及び賃借料	200,000	490,000	228,550	250,000	487,404	200,000	233,460
	備品購入費	300,000	400,000	2,844	400,000	96,984	100,000	0
	委託料	50,000	50,000	49,680	50,000	0	50,000	0
	建物等借上料	3,085,200	3,085,200	3,285,200	3,208,520	3,085,200	3,208,520	3,085,200
	諸会費	30,000	30,000	6,000	50,000	25,500	65,000	39,900
	交際費	15,000	15,000	10,000	0	0		
	会議費	30,000	30,000	8,880	5,000	29,398		3,585
	寄付金支払	50,000	20,000	39,000	20,000	10,000	25,000	1,000
	健康管理費	40,000	40,000	38,981	25,000	38,702	46,000	14,204
	保険加入料	50,000	50,000	0	50,000	0		49,680
	通所奨励金	650,000	650,000	633,164	450,000	603,642	350,000	442,658
	雑費		10,000	0	10,000	7,000	11,806	1,555
	車両費	300,000	3,250,000	3,282,752	3,250,000	35,387	400,000	238,463
	計	1,090,000	4,020,000	3,983,777	3,805,000	694,731	832,806	747,560
経費B		810,741	10,154	2,452,063	557,854	527,225	0	703,027
	借入金返済		0	1,784,016	50,354	35,387	0	133,002
	救援費	30,000	7,500	3,344	7,500	0	0	5,175
	記念パーティ		0		500,000	0	0	
	予備費	12,391	2,654	0	0	0		
	雑損失		0	25,962	0	0	0	14,156
	未払い金費用（償却費、車庫解体費用）	768,350	0		0	0	0	550,694
	次年度繰越金		0	638,741		491,838		

読もう会と



聞こう会 &書こう会

6月7日読もう会

UFO

パンダのシンシン、展示を中止（朝日小学生新聞5月26日号） 内容要約

上野動物園は、5月25日を以て、メスのジャイアントパンダ「シンシン」が、安心して出産に専念できるように、一般展示を中止した。オスの「リーリー」は、従来通り展示を続行。

この記事を選んだ理由

小学校低学年のころ、親に連れられて行った上野動物園で、特に印象に残ったのがジャイアントパンダでした。当時は、カンカンとランランだったと思います。その時は2頭とも元気でした。

その時以来、好きな動物はジャイアントパンダで、動物の出ってくるテレビ番組でも、よく見かけます。

今回、妊娠の兆候があるというニユ



ースがあつて気になっていたので、元気な子が産まれるといいなあと思って選びました。

（6月12日、無事に出産しました）

出席者から

ジャイアントパンダは、中国四川省チベットという、高地で、少し厳しいくらいの環境に生息する哺乳類で、食肉目クマ科ジャイアントパンダ属で、ジャイアントパンダ属では唯一。

亜種に四川、秦嶺がいるが、外見はほぼ同じ。食肉目だが雑食。笹や果物、昆虫や小動物を食べるとされる。

そんなジャイアントパンダは、未熟児の状態で誕生するが、ジャイアントパンダは有袋類ではない。一人歩きできるまでの数か月、母親にくっついて過ごす。産まれてひと月くらいで、あのパンダ色になってくる。それまでに母親が子どもを潰してしまうことも珍しくない。ジャイアントパンダは、発情期が3〜5月と短く、50%の確率で1匹、50%の確率で双子を出産するが（しくまれに三つ子のこともある）、自然界のジャイアントパンダは、原則一匹だけを育て、ほかの子は育児放棄してしまう。このように繁殖力の決して高いとは言えないジャイアントパンダがどうしてここまで生き残れてきたのか、有袋類でもないのにどうしてあんなにも小さく無防備に近い子を出産するのか、ふだんの生息はどうなっているのか、謎は多い。ジャイアントパン

ダは、約8〜900万年前に現生種の祖先が誕生したとされている。ヨーロッパからアジアに移住する過程で、肉食から雑食へ食性が変化し、今では笹がほぼ主食となっている。あのパンダ独特の毛色も、その過程で変化した。それがあの愛くるしい姿になったのは、奇跡かもしれない。

ジャイアントパンダは、1年あまりで成獣になるとか。成長が早いっす。今回誕生したシンシンの仔は、メスだとか。



今回の書こう会は、4月4日実施の聞こう会をもとに、文章に起こしてもらいました。テーマは、「苦い思い出」と「春に向けて」です。

安井成雄

苦い思い出…聞こう会に参加せず。

春に向けて

春は桜をたくさん見ながら暖かい太陽の下で冷たいビールでも飲みたいで



苦い思い出は、人間の進化には
いいらしいです。

苦い思い出
私は小学校のときに父の仕事を手伝
いました。仕事先の社長さんから20万

UFO

春にやりたいこと
前の話（苦い思い出）でいろいろな
議論が出来て良かったです。でも、少
し暗い話が多かったので、明るい話を
聞ける内容でよかったです。
色々出掛けたいと思います。

苦い思い出…執筆不掲載希望です。
H・I

す。
でもやっぱり花より団子なのでつまみ
もいっぱい食べたいです。
ダイエットでもやろうかな

円渡されましたが、父は親の手伝いを
するのは当たり前だと言ったので、社
長さんは手伝いでも仕事のうちと20万
円渡してくれて、父も納得してくれま
した。

春は暖かくていいのですが、花粉症
がひどくて家にいることが多くなりま
す。でもお花見は楽しみです。

リネカー

苦い思い出
中学校時代のサッカー部でのいじめ
について話した。

とてもつらい内容であったが、聞こ
う会のお題が「苦い思い出」というも
のだったので、敢えて話した。

内容としては、蹴りを入れられたり、
突き飛ばされたりと、いじめの内容に
ついて話した。

また、「春に向けて」というテーマ
では、毎年ほっとで行っているお花見
について話した。

お花見に対してのイメージという
か、明るいイメージについて話した。

また、他の皆さんの春に対してのイ
メージも垣間見れて、良かった。

次回も是非、聞こう会、書こう会に
参加したいと思った。



最近のパリスタマシンは、
簡単なラテアートくらいならできるとか。

苦い思い出

山海珍味

マックの百円コーヒーは質が良く
なったのですが、ミルクのみ入れて飲
んでいるので「苦い」という話をしま
した。

砂糖は入れません。マックは時間の期
限があるので、Wii-Fiiがつな
がるので、けっこう利用してます。

便利なんですよ。本当に「苦い思い
出」はなかなか他人には話せないとい
う結論になりました。

苦い思い出

孫悟麵

自分は社会人になってこの方、堪え
性がないのかいろんな職を転々としま
した。海上自衛隊を皮切りに、警備、

パチンコ店、飲食店、青果店、土木な
どの仕事をいろいろやりました。長く
て9年、数か月で辞めるのも珍しくな
かったです。

人間関係のこともあるし、何よりや
る気なさそうに見られたり、勤務態度
が悪く、不真面目に見られたりしてそ
このところをよく指摘されました。そ
してクビを宣告されるまでもなく、自
分から辞めていくように仕向けられま
す。

そういった経緯もあって、この仕事を
今後長く続けていられるかどうか、自
信はありません。

春に向けて

春にやりたいことというより、元々
春があまり好きではなく、花粉症はさ
ておき、卒業とか別れのイメージが
あったりして、思いつきを引きずるより、
なるべく気持ち切り換えたい季節で
す。でも幼少の思い出は今でもかなり
鮮明で、東京、日野市の百草園にピク
ニックへ行ったのが忘れられません。
丘の向こうに遠く見える百草園地がま
だ真新しく、生活の息吹を感じたり
して、住んでみたくなったりしたもの
です。春にやりたいことは、花より緑
といったところでしょうか。

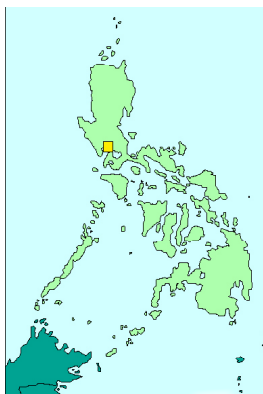
H・H

苦しい出

私の苦しい思い出というわけもなく
転んでしまったりすることです。

どうしてもなのか何故なのか、一瞬訳
も分からず転んでしまうことがよくあ
りました。

注意力が欠けているのだと思いま
す。注意力が欠けているといえ、数
年前に自宅の車庫に車を入れていると
き、左側のミラーをぶつけてしまった



フィリピン 研修旅行 レポート



ことがありこれも苦しい思い出のひとつ
です。いつも入れている場所なのに、
何を間違えたのかハンドル操作を誤り
ぶつけてしまいました。今考えても何
故なのかわかりません。

それと最近ではよく物を失くすこと
があり、先日手袋を失くしてしま
いました。

物を失くすのはショックですが、悪
いことが起きないように注意をうなが
しているんだと思うようにしています。

フィリピン研修旅行（安兵衛のテーマ）
フィリピンと日本の歴史

「1」 日本とフィリピンの関係

日本とフィリピンは共に弧状列島
（注1）。元はユーラシア大陸と陸続き
だった。従って、地震と火山が多いと
ころが共通している。

日本とフィリピンは黒潮に乗れば日
本の南西端の与那国島から2日で着い
てしまいます。

北風が吹く1〜2月に日本からフィ
リピンに。南風が吹く6〜7月にフィ

リピンから日本に二日あまりで到着し
ます。約2500年前の八重山諸島の
遺跡からシャコ貝製の斧が見つかり、
フィリピンの南部の島にも同じような
斧が見つっています。この斧は丸木
船を作るのに使われた痕跡があるそう
です。

古くから日本とフィリピンの交流が
あったと思われます。

「2」 日本列島とフィリピン諸島の
出来上がり方

「1」にも述べたように、弧状列島
として同じような列島の出来方なの

セブ島はだいたいこの位置です。東にレイ
テ、サマール。北にシファン海。西にネグ
ロス。南にボホール、ミンダナオ。



で、地震と火山が多く、温泉も出ると
思います。

「3」 地震と火山の国

日本列島はフィリピンよりももっと
複雑な大陸プレート活動で地震も火
山もフィリピンより多いし、規模も大
さい。フィリピンの大地震は1990
年。大噴火は1991年の大噴火が有
名（注2）。

「4」 海洋民族、大陸からの渡来民
族からなるフィリピン民族

カヤオ人。カガヤン州ペニャブラ
ンカのカヤオ洞窟から6万7千年前のア
ジア最古のホモサピエンス、カヤオ人
の骨が出土。

パラワン州のタボン洞穴で見つ

かった約1万6500年前のものと
見られるタボン洞窟人の人骨と石器、
コウモリや小哺乳類の骨などである。
人骨は甕棺に納められており、これを
中国の風習の影響と見る人もいる。
季節風を利用して、黒潮に乗って行
き来した記録や遺跡がある。大陸から
の渡来人、海洋からの海洋民族などで
構成されているなど、日本もフィリ
ピンも他民族の集合地域。

ネグрито渡来。また、リサール州の
ビナンゴナンでは紀元前3000年前
のアンゴノ・ペトログリフが見つ
つた。これらの遺物を残したのはネグ
リト人やオーストロネシア人（注3）
よりも前にフィリピンに住んでいた人
によるものと考えられる人もいる。



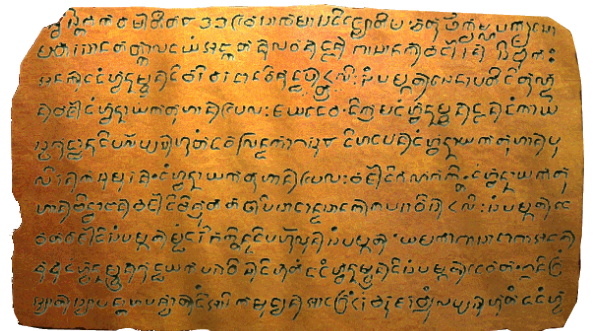
西太平洋（フィリピン付近）のプレート配
置図。フィリピン諸島の大部分はユーラシ
アプレートの上にある。



現在では少数派になったとはいえ、根強く残っているフィリピンのイスラム教。写真はマニラのゴールデン・モスク。

これらの住民との関連性は不明だが、これら住民を除けばフィリピンの初期の住民はネグリティ人と考えられている。ネグリティ人もいつから住んでいたかは不明である。2万年前ぐらいと考えられる人もいる。ネグリティ人は従来オーストラロイド（注4）と考えられていたが、遺伝子研究によりオーストラロイドの要素を含む新モンゴロイドであるとする説もある。

オーストロネシア人の拡大。それに続いてオーストロネシア語族の支族マレー・ポリネシア語派が紀元前4000年頃に到来した。当初はネグリティ人は沿岸に住んでいたが、原始マレー系住民に追われて山岳地帯に住むようになった。原始マレー人は製鉄と灌漑の技術を持っていた。



上図が、ラグナ銅版碑文といわれる裁判記録。（模写）
碑文には、西暦900年に相当する日付があるとされている。ルソン島のバエ湖で発見された。

紀元前500年から13世紀にかけて新マレー人が移住を続けた。

インド文化の到来3世紀には、扶南国の交易相手として巨延洲（注5）の記述があり、フィリピン諸島とみられている。交易品目はイモ・シヤコ貝。

西暦300年から700年頃には、東南アジアの島々では海洋民族が活躍しており、インド文化圏の仏教やヒンドゥー教の影響を受けていたと見られる。特にスマトラ島のシュリーヴィジャヤ王国やジャワ島のマジャパヒト

王国（いずれも現インドネシア）は交易を通じて文化の発信源となっており、フィリピンにもたらされた。現代フィリピンのタガログ語にもサンスクリット語を語源とする単語が多い。

「5」 中世

ルソン島。トンド王国（呂宋国）ラグナ銅版碑文。真偽は確定していないが、西暦900年に当たる日付が記された裁判記録。

ただし、この時代の様子を伺う資料が全く無いわけではない。1990年、ルソン島のバエ湖で、シヤカ暦822年（西暦900年）の日付が入ったラグナ銅版碑文と呼ばれる金属板が見つかった。これは早期カウィ文字（注6）に属する文字（バイバインと同じアプギダ）（注7）で書かれた一種の裁判記録であり、この時代にフィリピンにある程度の文明社会があったことを証明するのに十分なものであった。ただし、出自があまり明確ではなく、真贋は確定していない。

トンド王国は、中国・東南アジア・インド・アラブとの中継貿易で栄えた海洋国家である。中国の記録には、「呂宋國」が首都を「トンド」（東都）に置くという記述があり、モンゴル帝国に敗れた南宋の残党が海を渡り建国し

たという伝承が残っている。

ミンドロ島。摩逸

清代の史書『文献通考』によると、982年にフィリピンと思われる摩逸国の商人が交易品を積んで広州を訪れている。また、1225年の著書『諸蕃志』では、この時代のフィリピン（麻逸）の人は木綿の布で体全体または下部を隠しており、青銅の神像を草原に置いており、中国やアラブ諸国とバーター貿易していると解説されている。フィリピンの言語には中国語由来と見られる経済用語も多い。14世紀の島夷誌略にもマニラを意味する麻里の地名が見られる。



呂宋助左衛門（左）とルソン壺。ルソン壺は、ルソン島で現地の人が日常的に使用していた壺ですが、日本に持ち込まれるや、干利休によって見いだされ、高額の値がついたとか。古備前を思わせる素朴な造り、肩にある取っ手らしき突起が特徴。現在でも骨董品としての価値が高い。



フィリピンには世界遺産だってけっこうあります。
写真は、マニラにあるサン・アグスチン教会。
現存するフィリピン最古のキリスト教会だとか。
（実際は、セブのサン・トニーニョ教会のほうが古いが、
現存の建物は、1790年に再建されたもの）

ビサヤ諸島（サマール、レイテ、セブなど）。Confederation of Madjapahits（マジャパヒット）
ミンダナオ島。蒲端國（フトウアン王国）

ミンダナオ島北東部のアグサン川流域のフトウアンにあった中継貿易で栄えた海洋国家で、10世紀ごろにはすでに、占城（ベトナム南部）や馬來（マレー）に、サンタラ、インドネシアなどとの交易を行っていた。11世紀までにフトウアンはフィリピン諸島の交易・商業の中心となっていた。

1521年にフェルディナンド・マゼラン一行が、アグサン川河口に碇を下ろしミサを行った記録が残っている。

イスラムの到来。
14世紀後半には、中国と東南アジア（インド）中東を繋ぐ航路上で海上交易を行っていたイスラム商人の影響でフィリピン諸島にもイスラム教が広まる。

433年にはネグロス島の首長カランチアオが刑法を制定したとされているが、疑わしいと考える人もいる。
15世紀後半にはマラッカ王国を中心とした貿易が盛んになった。インドのマラバール、コロンネル、グジャラトやジャワと共に、ルソンからも多数の商人がマラッカを訪れて貿易した。
16世紀のスペインが到来する直前、ルソン島はブルネイの影響にある都市が多く存在した。その首長の何人かはブルネイのスルタンの娘を妻としていた。最大都市マニラには6000人規模の集落があり、その他にも南西部沿岸に都市があった。主な交易品は、輸出品として金、蜜蝋、蜂蜜、蘇木（注8）であった。輸入品としては陶磁器、織物、金属製品、日用雑貨などだった。輸入された鉄製品は新たに鋳物として作り直された。陶磁器は宋胡祿など中国や東南アジア各地のものが確認されている。

また、フィリピンにはバランガイと呼ばれる数十戸を単位とする集落が数

多くあった。バランガイの語は船を意味するマレー語に由来しており、元はマレーからの同一の漂流集団と見られている。バランガイは相互に交易も行っていたが、特定の国家に支配されているものではなかった。



写真はフィリピン軍の治安部隊。現在進行形で、ミンダナオ紛争が起きています。

ミンダナオ島。マギンダナオ王国
また、フィリピン南部のミンダナオ島にはジョホール王国（現ジョホール）からセリフ・カプンスワンがやってきて、マギンダナオ王国を建国した。
スルル王国。1380年、Simunang（現在のタウイタウイ州・スルル諸島）にメッカからMakdum（マクドゥム）がイスラム教をもたらし、フィリピンで最初のモスクの建設



戦闘（テロ？）のショット。ミンダナオにいるのは他でもないISIS（イスラム国）。

Karimal Makdum Mosqueを建設した。1450年頃にパレンバンから来たアブ・バクルがイスラム国家のスルル王国を建国した。いずれもスマトラからの有力移住者が地元の有力者と婚姻を結んでできた王朝である。（長いので、続きは次号に移ります。編集部）

注1…弧状列島とは、プレートの境界線に沿って弓状に連なる列島。日本、フィリピンのほか、アリューシャン、千島、琉球、インドネシア、カリブなどが有名。

注2…フィリピン大地震は1990年7月16日ルソン島バギオで発生し、マグニチュードは7.8。フィリピンの大噴火は、1991年6月7日、同じ

くルソン島のピナツボ火山が大噴火したものの。山体が約300メートルほど低くなった。

注3…ネグリティ人は、東南アジアからニューギニアにかけて居住する。アフリカ系黒人と身体的特徴は似ているが遠縁。オーストロネシア人は、太平洋島嶼、台湾、インド洋島嶼、マダガスカルにかけて言語的類似性のある語族。

注4…オーストラロイドは、ネグリティ人とだいたい同意義。当初、アフリカ系黒人（ネグロイド）と同系統とみられていたが、現在ではネグロイドの特徴も持ったモンゴロイドとみられる。

注5…扶南国は、17世紀ごろメコン川下流域に栄えたクメール（カンボ



ピナツボ山噴火のようす。噴煙は4万メートルにも達し、年平均気温が下がり、世界中の農作物に影響した



この写真が蘇木。
赤い木肉。漢方薬の原料。
黄肌も有名ですね。

アジアの多数派民族）人の仏教王国。巨延洲は扶南国の記述によるフィリピンのこととされる。

注6…カウィ文字とは、西暦300～800年ごろ南インドで使用されていた文字。

注7…バイバインは、アリバタとも言われるフィリピンの古文字。ドラえもんの倍になる薬とは関係ない。アプギダは、いくつかの字母を組み合わせる表音文字。現代ではハングルが有名。

注8…蜜蝋は、ミツバチが巣をつくるときの分泌物を精製して得られる蠟状の物質。蘇木は、蘇芳の木のこと。木の皮を剥くと、赤い心材が露出する。もっぱら漢方に利用される。

セブ研修旅行報告

山海 珍珠

今回のセブ島の研修旅行へ参加したのは、フィリピンへはマニラを中心に何回か行っているが、ビサヤ地方のセブにはいったことがなかったので、1回行ってみたいと思っていたからです。セブ島は世界的な観光地となっており、日本人のみならず世界中から人々が来ていることもありその観光インフラにも関心がありました。また今回はクリスティンさん、ビビアンさんのお二人がガイドにつくということでも、心強くなりました。つまり短い時間の中で充実した研修ができると考えましたが、その通りとなりました。

第1日目は、セブに到着してから、セブ市のモールを見て、そこで夕食（豚料理のスプチョン注1）を食しました。やはりここでもクリスティンさん、ビビアンさんのガイドが力になりました。外国に行く、レストランをどう選ぶか、選んだレストランで何を注文するかにかなり難儀しますが、お二人のガイドでスムーズに食事を楽しむことが出来ました。

そのご地元のスーパーにより、買い物しましたが、ここで早くも安いお



フィリピン旅行は行く前日から始まっていた！
写真は空港へ前のりしてきた人のためのスペース。

土産を買うことが出来ました。なかなかこういう経験はできませんので得難い経験となりました。

2日目

第2日目は、スケジュールにもとづいたセブの観光ルート（定番？）を回りましたが、最初のバナナ農園にいたのがよかったです。その他セブ市内にある市場はまだ違ったフィリピンの庶民の活気を感じさせる場所でした。その後、シーフードのレストランで食事しましたが、私はカニ料理を頼みましたが、750ペソ（注2）でこれだけのシーフード料理が食べられるのは本当にここしかありませんという感じでした。（この辺から、Sさんの胃袋の

強さに気づかされました。朝からのビール展開と健啖家ぶりを発揮して、カニ料理のあと焼き魚を注文してありました。さすがです。食事後、ギター工場へ行きましたが、ギター工場の説明に立ったかたの説明のうまさには驚きました。ああいう手工業のギター工場もフィリピンにはあるんですね。その後、クリスティンさんの妹さんの実家で食事。これも普段は食べられない料理のてんこ盛りで感激しました。おなか一杯になりました。食事の前にはご近所の家で闘鶏や蛇に触らせてもらいました。皆さん外見はともかく、窓から中を覗くとCSテレビやインターネットにつないで情報を取得していることがわかりました。情報化社会



は世界の津々浦々にまで広がっているですね。

ホテルに帰ると、Sさんがマッサージュ嬢を2人よんで、マッサージュ嬢のスケジュールの都合で同時にマッサージュを受けましたが、マッサージュ嬢の話だと、やはりセブ島からセブ市へ「出稼ぎ（?）」に来ているとのことでした。バイクもレンタルなので、スケジュールを変えることができないから2人です。同時にマッサージュしたいとのこと、Sさんも渋々承諾してマッサージュが行われていましたが、私は疲れているのかそのまま寝てしまいました。



3日目

3日目は、待ちに待ったリゾート展開でプライベートビーチのホテルへ行きました。前日のエアコンが効きすぎたのか、下痢状態で午前中は最悪の健康状態でした。しかしなんとか持ち直して、ホテルのレストランで食後、リゾートホテルの浜辺に繰り出しました。日本から持参したシュノーケルとライフジャケットで海の中へさぶるん。ぎよぎよっ、そこには南の海ならではのカラフルなお魚さんたちが泳いでいたのです。30〜40分もあるお魚さんもいましたヨ。浜辺にはKさんが体調を崩してぐったりしてました。強度の下痢です。しかしKさん、ついに限界がきて、クリスティンさんを探してリゾートホテルの中の病院へ駆け込みましたが、クリスティンさんに感謝と言ってました。クリスティンさんがいないと病院の場所を探すのすら時間がかかり、大混乱必死だったと思います。病院で薬を処方されて体調は少し持ち直したようでした。

そんなこんなしていると、堀部さんがレストランでの昼食を終えて浜辺に来たので、シュノーケルを貸しました。堀部さんは泳ぎが得意なので、瞬く間に沖へ泳いでいきました。しかしです。

20分、30分たてど戻ってこない。こりゃ遭難したかなと思い、救助してもらおうとホテルのフロントに向かうとしたところ、陸から堀部さんが来るではありませんか。沖へおよいでいくと潮に流されて隣のリゾートホテルへ迷い込んでしまい、海からはどこへ行ったらいいのかわからなくなったので、陸伝いに戻ってきたそうです。遭難してなくてよかった！Sさん、Tさんも浜辺にきてシュノーケルで海のお魚さんたちを鑑賞していました。

この日は海とホテルのプールを堪能して過ごしました。翌日は4時起きで日本へ帰るので、セブ市のモールで食事を済ませて、早めに寝ました。



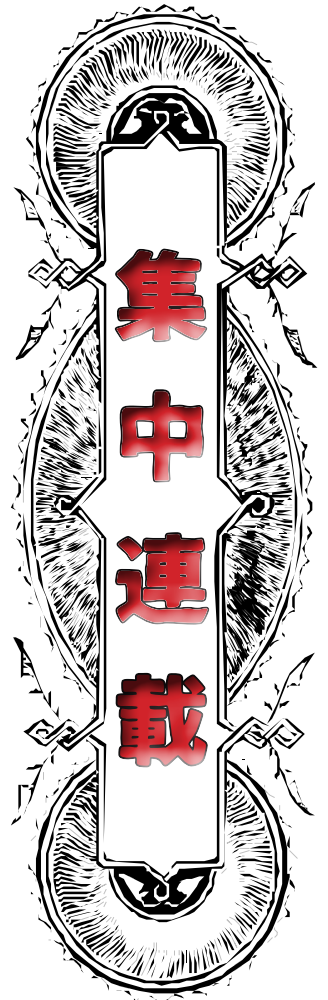
日本に帰ってきてから、ネット検索すると、セブに行つての最大の贅沢^{ぜいたく}は、ボートを貸し切りで借りて近場の^{りとう}離島へ行き、そこでBBQ^{バーベキュー}、シュノーケリングをして楽しむことだと知りました。これを「アイランドホッピング」というんだそうです。ボートを1日貸し切りで借りても2000ペソくらい。7人で割れば一人当たり300ペソ。皆さん、今度セブへ行く機会があれば「アイランドホッピング」をたのしみましょう。

今回のセブ研修旅行を振り返ると、クリスティンさん、ビビアンさんのおかげで実に充実した研修となりました。クリスティンさん、ビビアンさん本当にありがとうございます。

まだビサヤ地方の文化を語るほどにはセブに精通しているわけではないけれど、その入り口には立ったような気がしています。(了)

注1…ズブチョンは、セブ島を中心としたレストランチェーン。メインは豚肉料理。

注2…1フィリピンペソ＝約2・2円(2017年7月当時)



多剤併用大量投与と私の闘病体験

島村勇一

私はこの多剤併用と大量投与に、ついては、そんなにくわしくはないので、十九才で病院に入院した頃は、一年間の入院中は、軽い安定剤と(一日三回)一カ月につづけて十日間電気ショック治療(注1)を、一〇カ月間か十一カ月間か十二カ月か、毎月一〇日間づつかけられてきた。全部で一〇〇回か一一〇回か、一二〇回かけられた。十九才の頃で(昭和三十六年五月頃)電気ショック治療についての知識はなく、主治医の言うとおりにまかせて治療を受けた。十九才の若い頃で電気ショック治療については恐怖心もまったくなく、一月に一〇日間づつ一年間位かけつづけた。

一年間入院して退院して職場に復帰したが、退院するとき薬も持たせてくれず、通院しなさいとも主治医は言われず、仕事をしたが、薬もなく、三カ月位したら再発して入院することになった。

一度退院したが、又薬も持たしてもらえず、通院しなさいということも主治医の先生は言われず退院し又具合がわるくなり入院その後退院して仕事に復帰したが、途中二十一才のとき会社を退職した。そして、専門学校に新聞配達をしながら通っていたが、それを途中で投げ出し、学校にも伝えず、田舎の伯母^{いなかおば}の家へ帰り働いた。そこで再入院となり二年近く入院して東京から母がむかえにきて東京に帰った。東京で又具合が悪くなり再入院となった。これも電気ショックを入院したとき一回かけられた。クスリはヒルナミン二十五ミリと安定剤の軽い錠剤一錠を一日三回服用していた。伯母の家にいたとき入院したときはヒルナミン二十五ミリではなく、軽い安定剤を服用していた。

ヒルナミンの副作用はつよく、服用してもあまりにもきついので服用して自分で副作用をコントロールして副作用を避けたりすることを憶えたこともあった。服用して今ではコントロールの方法は忘れたが、それほどまでに強い副作用がでる薬であった。

副作用というのか、あれがヒルナミン二十五ミリの効能なのかもしれない。平成三年頃営業の仕事をしていたときもヒルナミン二十五ミリを服用し

次号予告（&原稿の募集）

次号の予告です。掲載しきれなかった総会の議案書、2017年度活動方針案、就業規則（改正）、ボランティア受け入れ規定（改正）、それからフィリピン旅行レポートに京都研修旅行レポート、島村勇一さん連載、あと会員さんの原稿を掲載できればと思います。編集部としては、医療観察法、精神保健福祉法を「ほっと」でのライフワークにできればと思っています。それに加え、一般の刑事手続き（逮捕から刑務所出所まで）についても書く機会があればと思います。併せて、読者のみなさまからの原稿募集は継続して行っています。今号から連載の島村勇一さん（ペンネーム）も、元会員ではありますが、外部からの御寄稿です。ぜひとも「われこそは」と思われる方は、原稿をお寄せください。ヒトコト感想をお寄せ下さるのでも結構です。よろしくお願いいたします。（編集部）

ていたが、朝のヒルナミンともうひとつの軽い安定剤を一錠服用して車で現場に向かっているとき運転中眠くなり道路の広いところの端に車を停めてそこで一時間位眠ってから又運転するというようにして仕事をしていた。

この満七十五才迄、五十六年間安定剤を飲みつづけてきた。電気ショックを二〇〇〜三〇〇回かけられたり、すごく強い安定剤ヒルナミン二十五ミリを服用したり（三十一年間）とても普

通では考えられない治療を受け、苦痛、苦難、苦悩困難の連続であった。でも私は社会で、健康者と同じように働くことを考えて、忘れなかった。又一番大事な、病気を治すことに、常に努力してきた。これ迄退院したら、すぐに職業安定所（ハローワーク）にいき、仕事をみつけ、すぐに仕事に就いてきた。でも病気がありながらも就職ができたこと、仕事をして家に帰ってきていることがとても嬉しかったりして、仕事から帰ってきてお風呂に入り、夕食をいただき少しテレビを観て、夜十時寝床に入り、でもそこであおむけになり、手帳にこれから先どうしていいかとメモを取り、その時間が深夜零

時とか夜中の一時になる、それから眠る、毎日このようにしていると、三カ月もすると睡眠不足で神経が過敏状態となり、以前父親が不可解なことを親父あめとき言ったことはなんだったんだと問うと父親はもう昔のことは言うなといったは争いとなり、口争いがはげしくなると父親はソーと外へ出ていって自転車に乗り、交番へ行ってパトカーを呼んでくる。それで私は何も言わずパトカーに乗り精神病院へ即入院となる、そして次の日の午前中電気ショック治療をされる。このような入院をくり返した。八年間その病院にお世話になった。（つづく）

注1…電気ショック療法は、いわゆる

電気けいれん療法といわれ、左右前頭葉の皮膚に電極を当て、通電する。

現在では全身麻酔のうえ、無けいれん通電療法もある。死亡率が低く、安全と一部の精神科医は説明するが、被験者によると、記憶の欠落など副作用が多く、また、近年では本人の知覚しないところで行うので人道的、人権擁護の点で大きな問題があり、また副作用の点からリスクが高いという指摘も多い。（ほっとスペース八王子では、あくまで通電療法には反対の立場で用語解説もします）

注2…ヒルナミンは、一般にレボメプ

ロマジンと呼ばれる抗精神病薬である。レボトミンともいう。ドーパミン2受容体を遮断し、強力な鎮静作用をもつが、過剰摂取時の死亡危険度は110種の抗精神病薬中4位である。現在ではありえないような処方だが、25ミリグラムは明らかに多すぎる。

編集後記

▼全国約2200人の「ほっと」読者のみなさん、お待たせしました、158号の発行です。このフォントは、ダウンロードしたのですが、明朝体にちよつと揺らぎを加えただけで、なんとなくホラーな感じに。夏らしくていいですね。

▼現在の編集体制になつては4年半になります。それまでに発行した「ほっと」は実質16号（140・141号が合併号だったため）。だいたい3ヶ月に1号のペースです。職員体制がガタガタで、1年に2号発行できれば御の字だったところに比べれば少しはマシになりましたが、ときどき編集部孫悟麵のトロさに絶望的になることがあります（だって体調ときどき悪くなるんだもん…孫悟麵談）。

▼それにめぐることなく、少しでも発行ペースを上げていければと思っていますが、いかんせん月刊化はさすがに難しいかもしれませ

ん。ご容赦ください。（編集部）